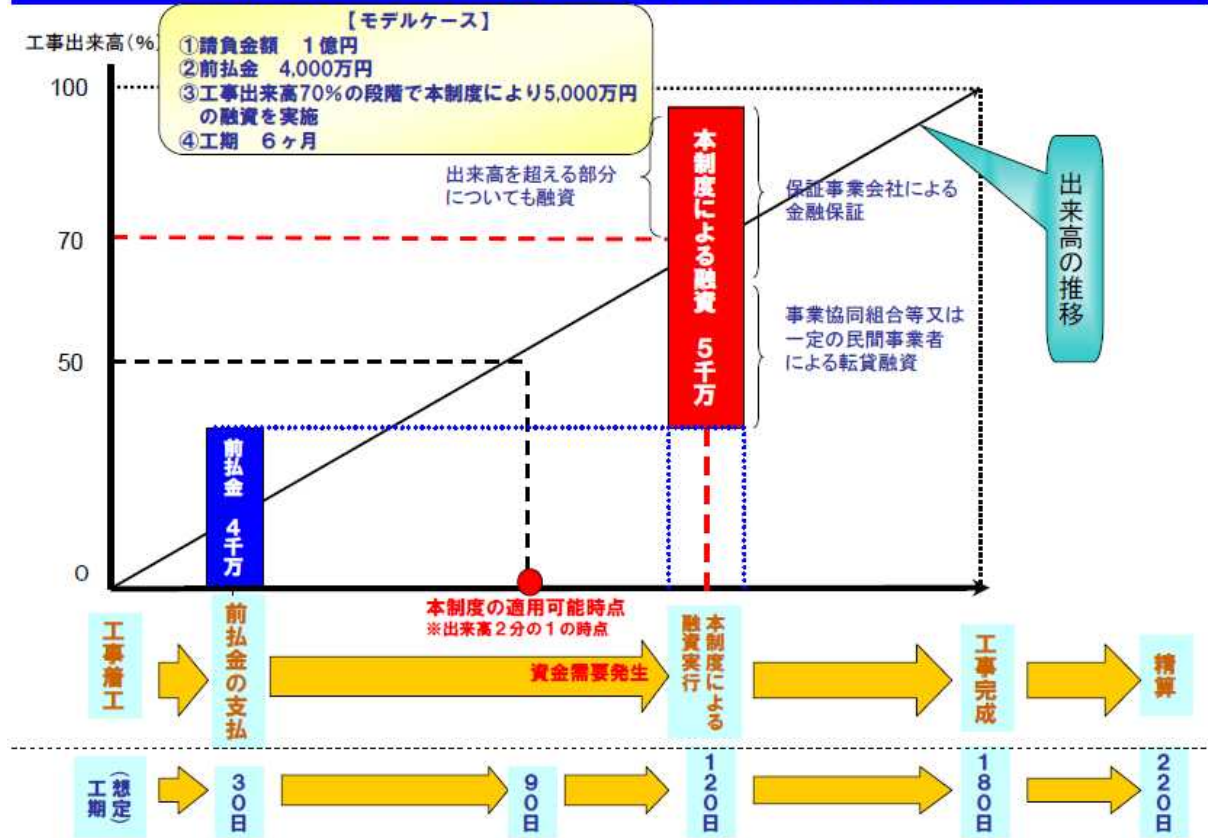
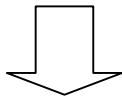


地域建設業経営強化融資制度の具体的なイメージ



【モデルケースの場合】

請負金額 1億円 前払金 4,000万円 工事出来高 70%
 契約保証金 1,000万円 債権譲渡額 6,000万円



《債権譲渡先による転貸融資額の算定》

$$\begin{aligned} \text{融資金額} &= (\text{請負金額} \times \text{出来高} - \text{前払金} - \text{契約保証金}) \times \text{担保掛目} \\ &= (1\text{億円} \times 70\% - 4,000\text{万円} - 1,000\text{万円}) \times 90\% \\ &= \underline{1,800\text{万円}} \end{aligned}$$

出来高部分

+

《保証事業会社の金融保証による融資額（最大限に融資を受けた場合）》

$$\begin{aligned} \text{融資金額} &= \text{請負金額} - \text{前払金} - \text{契約保証金} + \text{債権譲渡先による転貸融資金額} \\ &= 1\text{億円} - 4,000\text{万円} - 1,000\text{万円} + 1,800\text{万円} \\ &= \underline{3,200\text{万円}} \end{aligned}$$

未完成部分

ただし、保証事業会社の審査を行った上での融資のため、
 最大融資可能額全額の融資を約束するものではありません。

最大融資可能額 = 5,000万円